

SGEC 分別・表示事業体審査報告書

日吉町森林組合

平成 2 2 年 1 2 月

(社)全国林業改良普及協会

目 次

I. 日吉町森林組合の概要・確認資料一覧

II. 審査経過・写真

III. 審査における判定事由書

IV. 添付資料（主な確認資料）

V. 審査判定表

I. 日吉町森林組合の概要

1. 申請者名称 : 日吉町森林組合
代表理事組合長 井尻浩義
(所在地)
京都府南丹市日吉町殿田尾崎 8-1
2. 認定事業体名 日吉町森林組合
3. 認定対象業種 素材生産・販売
4. 沿革・概要

【沿革・概要】

昭和 30 年 4 月、昭和の大合併の際に、五ヶ荘・胡麻・世木の三村が合併して、日吉町が誕生した。森林組合はそれから遅れること 10 年、昭和 41 年 3 月に旧村の 3 森林組合が合併して「日吉町森林組合」がスタートした。

また日吉町は、平成 18 年 1 月 1 日、園部町、八木町、美山町と合併し、南丹市となっている。

現在の組合概要及び経営方針は以下に示す通りである。

- ・ 組合設立 : 1966 (昭和 41) 年 3 月
- ・ 組合員数 : 970 名
- ・ 出資金額 : 49,292 千円
- ・ 役員 : 18 名 (常勤理事 1 名、非常勤理事 14 名、監事 3 名)
- ・ 職員 : 18 名 (事務職員 7 名、現業職員 11 名)
- ・ 作業班員 : 4 名 長期アルバイト : 3 名
- ・ 中核組合 : 平成 15 年 11 月認定
- ・ 年間事業収入 : 360,995 千円

■ 経営方針

地域の森林を適正に管理することにより、良質な木材を生産することを通じて、森林・林業再生と組合員の利益確保をめざす。その結果、森林土壌を豊かにし、水を育むなど、環境保全に貢献する。さらに、雇用確保と納税義務を果たすことにより、地域社会に貢献する。これが新たな時代に求められる森林組合の役割と考え、これを基本に経営を展開する。

そのために必要なものは、人材の育成、機械化の推進、林内路網の整備、森林管理の方法や施業効率化の研究、そして組合員をはじめとした地域社会に森林の重要性を広く普及・啓蒙することであり、これらを重点項目として運営を進める。

■ 「日吉の森復活作戦」と森林コンサルティング

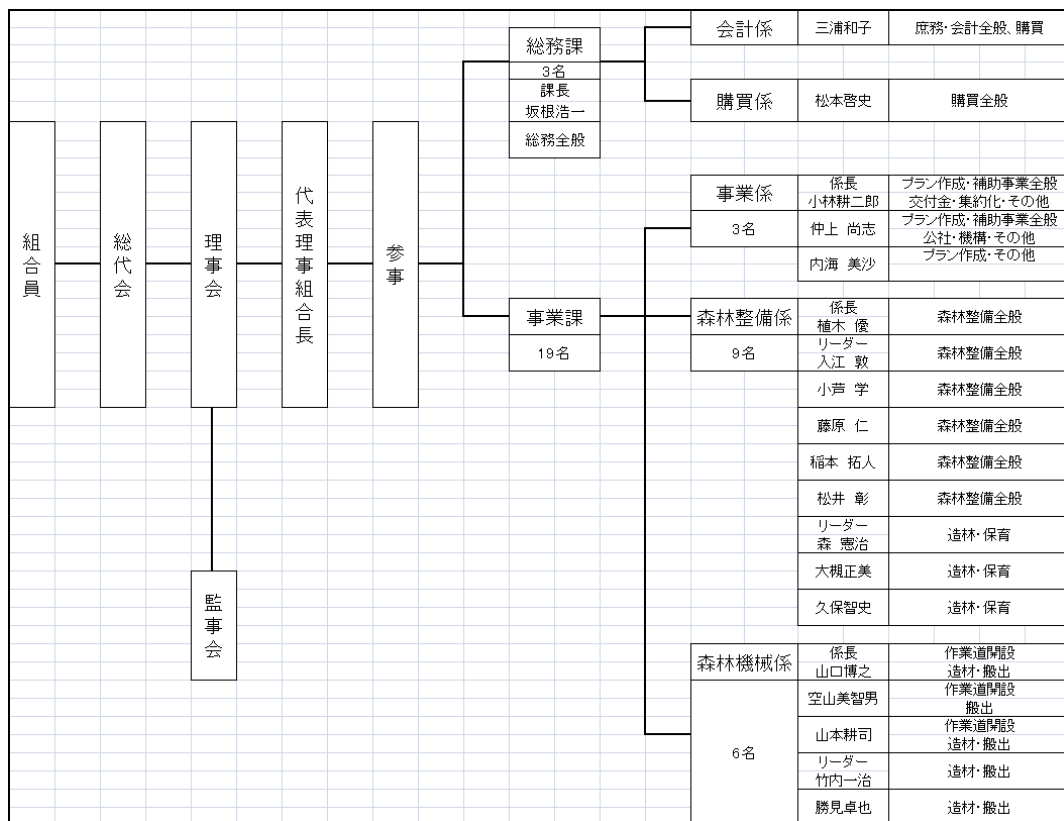
間伐の遅れた林分を一掃するために平成9年から「日吉の森復活作戦」を開始している。これは、一筆ごとに森林調査を行って必要な施業内容とそれに要する費用を明記し、現況写真を貼付した施業見積書「森林カルテ」を作成して、所有者へ郵送（必要に応じて地区座談会を開催）するものである。

さらに平成14年からは、これをもう一歩進めて作業道開設と間伐材搬出までを提案し、名称を「森林施業プラン」に変更した。林内へ作業道が入ることによって間伐による収入が見込めるようになった。「日吉の森復活作戦」は施業遅れを解消するための事業から、将来の森林経営を視野に入れた企画・提案型のコンサルティング要素を持つ事業へと進化発展している。

■ 機械化の推進と作業道の開設

日吉町森林組合は、は、バックフォー×7 グラップル×6 ハーベスタ×1 フォワード×3 不整地運搬車×1 10tトラック×1 2tダンプ×1（必要に応じて作業道開設用バックフォーをレンタル）の機械装備を有しており、作業道を開設しながら間伐材を搬出している。

■ 森林管理体制



■保有機械一覧

日吉町森林組合保有機械一覧表											平成22年1月作成	
【本体】												
機種	規格	導入年度	導入事業名	メーカー	架装内容	規格			備考			
						履帯幅	自重	最大積載量				
ミニバックホー	PC-45	12	ふるさと農林	コマツ	グラップル(イワフジ)	1,960	4.50 t	-	#1881	木材搬出用		
ミニバックホー	PC-35	13	自力	コマツ	フォーク	1,740	3.50 t	-	#3427	作業路仕上用		
#	PC-45	15	間伐等対策事業	コマツ	グラップル(イワフジ)	1,960	4.50 t	-	#3399	木材搬出用		
#	PC-50	16	間伐等対策事業	コマツ	グラップル(イワフジ)	1,960	4.79 t	-	#5819	木材搬出用		
バックホー	308CCR	18	間伐等対策事業	CAT	グラップル(南星)	2,320	8.23 t	-		作業路開設用		
#	PC-78-6	19	間伐等対策事業	コマツ	グラップル(南星)	2,330	8.54 t	-	ｽｲｯﾌﾟ7-ﾙ	木材搬出用		
#	PC-78-8	20	林業・木材産業等事業	コマツ	グラップル(南星)	2,330	8.54 t	-	ｽｲｯﾌﾟ7-ﾙ	木材搬出用		
#	PC-78-8	21	間伐等対策事業	コマツ	アイヨン配管付き					作業路開設用		
ハーベスタ	308CCR	18	間伐等対策事業	CAT	ケトー(GP51)	2,320	8.23 t	-		伐倒・造材用		
フォワーダ	U-3AD	14	間伐等対策事業	イワフジ	土砂運搬用荷台	1,530	3.27 t	2.50 t		木材運搬用		
#	650VDL	19	間伐等対策事業	モロオカ	-	2,135	6.20 t	4.00 t		木材運搬用		
イワフジ製雪下ろし	U-3BG	17	間伐等対策事業	イワフジ	グラップル付き	1,690	4.53 t	2.50 t		木材運搬用		
土砂運搬車	CD30R	11	ふるさと農林	コマツ	土砂運搬車	1,940	2.78 t	3.00 t				
【アタッチメント等】												
機種	規格	導入年度	導入事業名	メーカー	使用用途	規格				備考		
						開き幅	自重	許容荷重	引張力		ソー	
フォーク	ｽﾞｰﾊﾞ ｼｯﾌﾟﾙ用	12	ふるさと農林	オノデラ	木材積込	-	-	-	-	-	PC-45用	
#	#	13	自力	オノデラ	木材積込	-	-	-	-	-	PC-35用	
#	#	14	自力	オノデラ	木材積込	-	-	-	-	-	PC-50用	
グラップル	HV50LHV	15	自力	イワフジ	木材積込	1,280	200kg	800kg	-	-	PC-45に架装	
#	HV50LHV	16	間伐等対策事業	イワフジ	木材積込	1,280	200kg	800kg	-	-	PC-50に架装	
#	HV50LHV	17	自力	イワフジ	木材積込	1,280	200kg	800kg	-	-	PC-45に架装	
#	BHS-100VR	18	間伐等対策事業	南星	木材積込	1,720	460kg	500kg	-	-	308ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙに架装	
#	BHS-10MM-3改	19	間伐等対策事業	南星	木材積込	1,430	270kg	2000kg	-	-	PC-78-6に架装	
#	BHS-10MM-3改	20	林業・木材産業等事業	南星	木材積込	1,430	270kg	2000kg	-	-	PC-78-8に架装	
ザウルス	MSE-25CX-S	21	自力	松本	作業路開設				-	-	308ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙに架装	
ウインチ	TW-1S	18	間伐等対策事業	イワフジ	木材集積	-	89kg	-	1140kg	-	308ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙに架装	
#	MSE-HW20ACB	19	間伐等対策事業	松本	木材集積	-	75kg	-	1370kg	-	PC-78-6に架装	
#	MSE-HW23ACB	20	林業・木材産業等事業	松本	木材集積	-	107kg	-	2000kg	-	PC-78-8に架装	
アイヨン	削岩機	12	ふるさと農林	コマツ	岩掘削	-	-	-	-	-	45.50に架装可能	
ハーベスタ	GP51	18	間伐等対策事業	ケトー	造材	320	389kg	150kg	-	18ｲﾝﾁ	308CCRに架装	
【機械回送車】												
機種	規格	導入年度	導入事業名	メーカー	使用用途	規格			備考			
						荷台幅	荷台長	最大積載量				
トラック		19	自力	日野	重機回送						ユニック付き	

5. 木材・木製品の年間取扱実績

○期間(1年) 平成21年2月1日～平成22年1月31日

○木材・木製品の取扱量 原木取扱量 12,406 m³

○主な取引先: 八木木材市場(株)／北桑木材センター(京都市)
／林ベニヤ(舞鶴市) 等

6. 分別・表示管理体制

認定事業体としての日吉町森林組合の役割は、管轄地域内の認証森林での伐採、搬出、山土場検収、運材までを想定している。これらの行程は、認証森林であることの確認を怠らなければ、分別・表示は容易である。

日吉町森林組合では、SGEC認証林産物総括管理責任者のもと、「SGEC分別・表示システムの諸規程に則り、認証森林から産出された林産物の適切かつ効率的な利用を目的」とした「認証林産物の分別・表示管理方針」及び「認証林産物の分別・表示管理計画」、「認証林産物生産・出荷管理計画」を定めて、作業工程での分別・表示管理の徹底を図っている。

なお、素材生産は、持続可能な森林経営の行われている森林内での作業であることから、実行段階でのマニュアルである「「認証森林」伐採・搬出作業マニュアル」を作成し、現場職員に対する分別・表示管理の徹底と、「持続可能な森林経営」に対する教育・指導体制を執っていることを確認した。

(主な確認資料)

- ・ 日吉町森林組合実績報告
- ・ 認証林産物の分別・表示管理方針書
- ・ 認証林産物の分別・表示管理計画書
- ・ 認証林産物の分別・表示管理体制
- ・ 「認証森林」伐採・搬出作業マニュアル

Ⅱ. 審査経過・確認資料一覧・写真

1. 日吉町森林組合の審査経過

日吉町森林組合の審査は、(社)全国林業改良普及協会認証審査センターの兒島裕、岡田泰久、白猪吉郎、宇佐美均の4名が行った。

【審査申込】

平成22年7月22日／審査申込

(内 容)

1. SGEC 分別・表示システム運営規程及び実施要領説明
2. 全林協の審査手順についての説明
3. 審査申込書の受付、関連資料の確認

【認定審査】

平成22年11月4、5日／書類確認及び現地確認

(場 所)

日吉町森林組合事務所、素材生産現場

(審査委員)

元東京農業大学教授・農学博士

河原輝彦

(審査員)

(社)全国林業改良普及協会

審査員

宇佐美均

同

専門審査員

岡田泰久、白猪吉郎

(出席者)

日吉町森林組合

参 事

湯浅 勲

事業課係長

小林 耕二郎

(内 容)

1. 日吉町森林組合事務所において、提出された書類及び資料を受けるとともに、森林認証・分別表示についての説明を行い、SGEC 分別・表示システム諸規定の遵守意志を確認した。
2. 事業の概要、事業体認定を取得した後の分別・表示の考え方や管理方針、認証林産物の管理計画、分別・表示管理の体制等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
3. 作業現場を順次調査し、伐採、搬出、選別、保管、出荷における安全・林地保全対策、木材の流れ、および現場管理の仕組み等について確認を行った。
4. 現場担当者に事業体認定を取得した後の分別・表示の考え方や管理方針、認証林産物の管理計画、分別・表示管理体制等について聞き取りを行い、実行意思を確認した。

【審査判定】

平成 22 年 11 月 15 日（書類）

（委員名）

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
木構造振興株式会社専務取締役・農学博士	西村 勝美
東京農工大学教授・農学博士	土屋 俊幸
（社）林木育種協会理事	真柴 孝司

（事務局）

（社）全国林業改良普及協会専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	野田 昭一
同 認証審査センター	宇佐美均

（内 容）

1. 現地認定審査の結果を報告するとともに、SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査要件」について審査判定を行った。
2. 提出資料、生産現場での管理の仕組み、審査判定表による判定の内容等からいって、申請者は認定に値する統合事業体であるものと認められた。

Ⅲ. 日吉町森林組合の審査における判定事由書

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき、全林協「SGEC 事業体認定基準・指標」の 15 項目を審査要件とした。

これら「審査要件」に基づいて「認定審査」を行い、審査委員会に諮ったところ、日吉町森林組合は、認定に値する事業体であるとして判定された。

なお、審査委員会により、認定取得後の「向上目標」として下記が付記された。

【向上目標】

1. 認証林産物の取扱はこれからであることから、関係職員に対し、十分な教育・研修を図り、分別・表示管理方針書の趣旨を徹底すること。（基準 2-4）
2. 詳細な産地情報を求める消費者の要望が、高まってきていることから、川上事業体として、「認証材産地出荷証明書」など、より詳細な情報の記録・保存に努めること。（基準 4-3）